

令和4年度 組織・連携委員会だより

N O . 1

北海道PTA連合会

令和4年7月9日（土）に第1回委員会が開催されました。その内容をお知らせいたします。

1. 組織・連携委員会では、令和4年度、次のような内容で研究を進めていきます。

1 研究テーマ

『ともに学び、行動し、連携するPTA活動や組織の在り方』

2 研究テーマ設定の理由

誰も予想できなかった新型コロナウイルス感染症の流行、日常の平和が突如脅かされる世界の状況、まさに予測困難な時代を目の当たりにしている。また、わが国においては、少子・高齢化や人口減少などの社会構造の変化や人工知能（AI）の飛躍的な進化などによる急速な変化を迎えており、社会において必要とされる資質・能力が大きく変化している。

このような時代にあつて、子どもたちには、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待されているところである。

学校教育においては、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新しい価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められている。

このことは、これまでも「生きる力」の育成として学校教育において目指してきたところであるが、子どもたちを取り巻く環境の変化により学校が抱える課題も複雑化・困難化する中で、これまでどおりの学校の工夫だけにその実現を委ねることが困難になってきている。

こうしたことからPTAは、学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を踏まえ、将来、子どもが実社会で生き抜くための力を身に付けさせるために、学校と家庭・地域を実質的につなぎ、地域の子どもは地域で育てる体制づくりの中心的な役割を担うことが必要である。

そのため、学校教育と密接な関連をもち、教職員と保護者が互いに学び合い、相互の

連携及び協力に努め、その成果を学校、家庭、地域に還元するなど、一体となって子どもの教育を積極的に進める組織としての在り方を研究することが必要であることから、上記のテーマを設定した。

3 研究の視点

研究テーマを追究するためには、委員会がこれまでの成果を踏まえ、各PTA活動の推進に役立つ有効な情報を主体的に発信することが重要であることから、次の2つの視点に基づき活動を進める。

- 持続可能なPTA活動・組織
- with コロナ時代のPTA活動

4 研究の内容

(1) これまでの成果と具体的な課題

① これまでの成果

- 時代の変化や各地区・各単Pの実情を踏まえ、持続可能なPTA組織の体制づくりや運営等に関し、様々な工夫・改善を図る動きが始まっている。
- コロナ禍にあっても、オンラインを積極的に活用するなど、内容・方法等を工夫して活動する取組が進んでいる。
- 道P南空知・岩見沢大会は中止となったが、北海道ブロック協議会主催「北海道の特色ある実践事例発表」で、旭川市立緑新小学校PTAなどがオンライン発表を行った。

② 具体的な課題

- 社会情勢や各地区・各単Pの実情に即したPTA活動の継続・改革・創造を目指す必要がある。
- with コロナ時代のPTA活動の推進について考えていかなければならない。

(2) 今年度の研究の方向性

上記の課題の解決に向け、今年度は、次の3点を中心に研究協議を進める。

- ① これまでの成果と課題を踏まえ、ウイズコロナでの挑戦・体験・学びを止めないPTA活動の推進、そしてポストコロナでの進化したPTAの姿についてさらに究明していく。
- ② 現研究テーマ・視点・具体的な取組について継続研究とし深化を図る。
- ③ 令和5年度札幌大会での提言について協議を継続し、提言校の選出・発表依頼をする。

5 研究推進日程

6月10日（金）正副委員長予定者会

*今年度の活動計画案について検討 他

7月 9日（土）第1回委員会

*研究テーマの決定、研究推進の方向性（骨子）確認

*今年度の活動計画、具体的な活動内容についての協議

*各地区のPTA活動の交流と今年度研究テーマについての協議①

- *道Pオホーツク北見大会について
- *令和5年度の札幌大会提言分科会の確認
- *令和5年度の札幌大会提言 PTA 決定までの見通し

10月15日(土) 第2回委員会

- *道Pオホーツク北見大会の報告と反省
- *各地区のPTA活動の交流と今年度研究テーマについての協議②
- *令和5年度の札幌大会提言 PTA の検討
(※各地区のPTA活動の交流等から)
- *今年度のまとめに向けての方向性の確認 他

12月 3日(土) 第3回委員会

- *令和5年度の札幌大会提言 PTA の決定
- *各地区PTA研究大会の報告と意見交換
- *今年度の活動のまとめと反省
- *次年度の方向性について意見交換と引き継ぎ事項の確認

6 令和3年度の委員会体制 【組織・連携委員会】 15名

次の方々が道P連組織・連携委員会の研究を推進しています。(敬称略)

- | | | |
|------|----------------------|--------------------------|
| 委員長 | ①後藤 一樹 (副会長:石狩) | |
| 副委員長 | ①廣瀬 堅一 (副会長:小樽) | ②堀江 裕樹 (副会長:旭川) |
| | ④舛田那由多 (副会長:胆振東部) | |
| | ・前田 真志 (副会長:道中校長会) | |
| 教師代表 | ・加藤 広子 (小樽市立潮見台小学校長) | |
| 委員 | ②加藤 準 (上川北部) | ③篠田 幸伸 (渡島) ④小野島直彦 (南空知) |
| | ④加藤 靖将 (胆振西部) | ④伊藤公弥子 (日高) ⑤川村 淳 (オホ東部) |
| | ⑤天野 英紀 (オホ西部) | ⑤畑 健太郎 (十勝) ⑤井関 一祥 (釧路) |

- *①②③④⑤は、ブロックを表しています。
- *道P連のホームページの「委員会」をご覧ください。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目STV時計台通ビル6階
 TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929
 Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp